

かけ橋

まだ見ぬ君へ…

富士本町おかみさん会

今回は、富士本町で営む商店の「おかみさん」を中心に、趣向を凝らした催し物で、富士本町通りに温かな風を運ぶ活動を行っている「富士本町おかみさん会」（森のり子会長）をご紹介します。

現在三十九人が会員となっているこの会は、一昨年の十月に発足しました。これまでに本町一丁目から銀座町までの区間の歩道やショーウィンドー内にイゼル（絵などを飾る板）を設置し、そこに絵手紙や写真などを展示した「ストリートギャラリー」を開催。このほか、本町通りの空き店舗を利用して、押し花はがきづくりや焼き物教室、絵手紙体験会を開催するなど、商店街を訪れる人の目を楽しませてくれています。

会長の森さん、副会長の望月さんは「会の発足当初はどのよ



▲1月には、ストリートギャラリーで新春書道展を開催

うにして活動したらいいのか手探りの状態でした。富士本町商店街振興組合からも協力をいただいで、ギャラリーの開催も十回を重ね、ようやく活動も軌道に乗ってきたところです。

三月初めには、富士第一小学校の子供たちが描いた富士山の絵などをストリートギャラリーで展示します。また、空き店舗を利用したイベントに参加してください。くださった皆さんが制作した作品を展示していくことも考えています。行く行くは、全国に富士山が見える商店街のすばらしさをアピールし、集まってくださった皆さんに富士山を描いてもらい、その作品を展示してみたいですね。

これから『おかみさん』たちで力を合わせて、街に優しさや温かさを届けていくつもりです。ぜひ富士本町に足を運んでください」と話してくれました。



▲富士本町おかみさん会の皆さん

「平成十二年富士市消防出初式写真コンクール」で 長谷川哲也さん、啓子さん夫妻が市長賞・議長賞に



消防出初式の模様をとらえた写真を募集して行われた「出初式写真コンクール」。二十回目を迎えた今回のコンクールの審査結果がこのほど発表され、増川新町にお住まいの長谷川さん夫妻が市長賞と議長賞を受賞するという快挙をなし遂げました。

長谷川さん夫妻の作品は、哲也さんは啓子さんを、啓子さんは哲也さんを、それぞれ我が子と一緒に撮影したもの。

ダイビングの趣味から水中写真にのめり込んだのをきっかけに、十数年前から写真を始めたという哲也さんは、「二人同時



▲喜びの声を語る長谷川哲也さんと啓子さん

に受賞との知らせを聞いたときは驚きました。昨年の消防まつりのときに、ビルの壁面ガラスに注目し、この構図で撮ったらおもしろいと思い、シャッターチャンスをおねらっていました」と話してくれました。

また、二回目の応募で見事入賞を果たした啓子さんは、「ふだんは夫がプレゼントしてくれたカメラで子供たちのスナップ写真を撮っています。でき上がった写真を見てタイトルをつけるときは悩みましたが、受賞できてとてもうれいす」と喜びの声を聞かせてくれました。

*結果はP13参照。



◀市長賞を受賞した哲也さんの作品



▶議長賞を受賞した啓子さんの作品